

海外生活 エッセー

シドニー事務所

オーストラリアの生活に見られる Showing Respect の慣習

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 清水 えりか (東京都派遣)

→ 身近にあふれる先住民への表敬

オーストラリアでは先住民の人々の存在について意識させられる場面がよくあります。最近あったのは、先住民の神話にも登場し観光地として知られるスリーシスターズが先住民の土地であることを示す看板や、先住民にとって神聖な場所であるエアーズロックの撮影を禁止するため近年設置されたという看板を見た時などです。この他、スポーツイベントや式典の開会式、飛行機内のアナウンスなどでは必ず、先住民に対し敬意を表す場面があります。本稿では、オーストラリアの生活に見られる先住民たちへの表敬の慣習について紹介します。



スリーシスターズがアボリジニ (先住民) の土地であることを示す看板



先住民の文化を尊重しエアーズロックの撮影を行わないよう求める看板



社内イベントの冒頭で「Welcome to Country」が行われる様子

「Welcome to Country」は、イベントが行われる土地を伝統的に所有してきた先住民だけが述べることができます。彼らがイベントの参加者たちを「訪問者」として迎え入れる儀式ということでこのように呼ばれます。

一方、「Acknowledgement of Country」は先住民に限らず誰でも述べることができます。「Welcome to Country」に応える形で述べられることもあれば、飛行機着陸時の機内アナウンスのように、大衆に向かって一方的に述べられることもあります。

近年、働き方が多様化しビジネスシーンのオンライン化が進む中でも、この慣習をしっかり認識し続けていくことが大切だとして、ニューサウスウェールズ州政府はウェビナーなどのオンラインイベントの場でどのように「Acknowledgement of Country」を実践すればよいかについて、ウェブサイト上で情報を発信しています。

ご紹介した慣習は、かつての白人至上主義から現在の多文化主義へと移り変わったオーストラリアという国の歴史を象徴するような、生活の中のワンシーンだと思います。多民族間の調和を掲げるオーストラリア社会の一員として私自身も本稿の執筆を通じ、この慣習の本当の意味や先住民の人々の文化について少しだけ学ぶことができました。

→ 先住民への表敬に関するガイドライン

オーストラリアでは、先住民に対する過去の過ちを償い、相互の信頼と尊重に基づいた社会を作るという目的で、政府関係の行事や大衆向けのイベントなどにおいて先住民への敬意を表す「Welcome to Country」(歓迎の言葉・儀式) や「Acknowledgement of Country」(謝辞) を述べる (行う) ことが慣習となっています。